

## 平成27年度前期教育活動に関するアンケートの集計結果について

深秋の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、9月に実施しました周防小学校の前期の教育活動に関するアンケートにご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今年度も学校教育目標「**意欲的に学び、共によりよく生きる子どもの育成～生き方を深め、すてきな大人に育つ～**」の重点目標について、児童・保護者・教職員がほぼ同じ項目でアンケートを実施しました。保護者の皆様には、どの取組についても、おおむね目標を達成できているとの評価をいただき、ありがとうございました。

つきましては、集計結果と**集計結果に基づき、今後さらに学校と家庭が連携して取り組んでいきたい事項**をお知らせしますので、一層のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### 1 体力向上と基本的生活習慣の改善

アンケート結果では、「早ね早おき朝ごはん」の習慣化について、児童は**93%**、保護者**78%**が「身につけている」と回答いただきました。今後とも、「早ね・早おき・朝ごはんパスポート」等でしっかり子どもたちの生活習慣の形成に努めていきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。

一方、本校の子どもたちは、**テレビやゲームに費やす時間が長い**ことが課題になっています。ご家庭でもテレビやゲームの時間の見直しやルールづくりなど、夜更かしや生活習慣の乱れにつながらないような環境づくりや働きかけをお願いいたします。

また、定期健康診断結果による受診・治療について、受診率は**歯65%、目63%、耳鼻45%**となっています。子どもたちの健康づくりのため、慢性化したり症状が悪化したりする前に早めの受診・治療をお願いいたします。



### 2 算数科の基礎学力向上と伝え合う力を高める学級集団づくり

「国語・算数の勉強がだいたいわかる」と回答した児童は**89%**、「国語・算数の基礎的な学力が身に付いている」と回答した保護者は**77%**です。学校では、昨年度に引き続き予習を取り入れた算数の校内研修や、読書活動の充実に取り組んでいます。

一方、学年に応じた家庭学習が「できている」と答えた児童**89%**、保護者**72%**でした。その中で、**家庭での読書活動や宿題以外の自主勉強**などまだまだ十分に組み立てていないこともあります。すらすら音読したり、漢字や計算ができたりする基礎的な学習は、くり返し練習することによって身に付きます。また、小学生の間の家庭での学習習慣の形成は、今後の学習にもつながる大切なことです。家庭での学習習慣が確実に身に付くよう今後ともご配慮ください。



### 3 コミュニケーション能力の育成とあいさつの瞬発力形成

「あいさつを自分から進んでしている」と回答した子どもは**95%**、保護者**78%**でした。大きな声であいさつができる子どもが確実に増えています。一方、声を掛けられてもあいさつや返事ができない子どもも残念ながら若干見かけます。大人が手本となり、相手に聞こえる大きな声で元気なあいさつや返事ができる子どもを育てていきましょう。社会に出て必要なコミュニケーション力の第一歩はあいさつです。

また、「相手のことを考えた言葉遣いをしている」**79%**、「大人に対して敬語を遣うなど、相手に応じた言葉遣いをしている」**69%**と保護者の方に回答していただいています。相手や時と場に応じた言葉遣いができることや相手の嫌がることを言わないことは、引き続き子どもたちに身に付けさせていくこととして、学校でも取り組んで参ります。加えて、**スマートホンやケータイによるトラブル**が懸念されます。ご家庭でも折に触れ、メディアの正しい使い方についてご指導していただけたらと思います。(どんぐりセミナー、スマホ・ケータイ安全教室を開催予定)

